

## 5. おわりに



2020年（令和二年）元旦

斑鳩の里、錦が丘から望む大和青垣の初日の出

2020年（令和二年）元旦は、例年のように閑居のある斑鳩の里は錦が丘から、大和青垣に上る初日の出を拝んだ。聖徳太子はこの丘に立ち、法隆寺建立の場所を決めたといわれる逸話がある。写真左の木の隙間に藤ノ木古墳が見え、さらに左奥には法隆寺がある。このような場所で新しい年を迎えたが、2020年がコロナの年になるとはだれしもが考えなかった。よく年末や年始に高名な占い師が新しい年を占う。ならば、誰かが言い当てていてもよさそうだが、と考えるのは私だけであろうか。

本レポートを弥生のはじめに書き始めてもう長月になった。そして、やはり病の感染症対策、地球温暖化の影響であろう猛暑による熱中症対策、ステイホームと言われるままに蟄居・閉門状態の中、こんなこともあってか実行・継続力の乏しい私でさえ「おわりに」まで書き進めることができた。この辺はポジティブにとらえたい。

### 1) 世界一周

古今東西、紀行文は多くの方が綴っている。まだ旅が危険を多く伴っていたころ、羨望をもって読まれていたに違いない。そのような中、小説「八十日間世界一周」の著者ジュール・ヴェルクはどのような取材のもとに執筆したのか気になるところである。

さて、ここでおさらいをしておこう。すでにこの小説を読まれた方ならお分かりだろうが、結局フォッグ氏は賭けに勝つ。ストーリーは旅行の初日から何日目の形で展開進められており、日本からアメリカに渡る際にも、日付変更線の箇所は何もなかったように話が進められていたと思う。 $24\text{hr}/\text{d} - 24\text{hr}/80\text{d} = 23.7\text{hr}/\text{d}$  80日間の東周りだと1日

が平均 23.7hr となり、18 分短いことになるはず？ つまり、毎日知らないうちに 18 分の時間を貯金して賭けに勝ったとも考えられる、のが落ちであろう。この本はすでに誰かに譲ったので、追々に本屋でこっそり立ち読みをして、最後の文章だけでも確認してみたい。そこには「それでも人は（世界一周の）旅に出るのだ。」と、締めくくられていたような記憶がある。私流に付け加えるのなら「そして旅を終えた旅人は、いつもと変わらない日々に戻って行く。」・・・はずである。

## 2) 文字数

書きはじめは 20 ページくらいと考えていたが、暇に任せてつらつらと書いてしまった。いつのまにか前章まで 116 ページ、文字数は約 72,000 字、写真数は 380 枚近く（最終の字数と写真枚数は最後に記す）になった。世界一周の紀行文と言いながらも、私の原点の鋳物屋から網屋の話、そして後半のアジア地域では、過去の海外旅行のことも含めながら書き進めた。

1960 年代（昭和 35 年～）その頃家は鋳物屋をしており、日雇い、いわゆるパートで働きに来ていた方の日当は 300 円ほど、劣悪な環境で 1 日働いても 1 ドルに満たない金額であった。特に家内工業であれば、それを手伝うのは子供としてあたりまえの時代である。大学受験の数日前、仕事の手伝いをして溶けた鉄で手を火傷、利き手の右手が使えないまま九州へ受験に行った。火傷の翌日病院に行ったのだが、この時、医者になぜすぐに救急車を呼ばなかったのか、入院をしろとも言われた。それでも受験に行くといえば、右手が無くなってもよいのかとも言われた。そんな記憶が今でも鮮明に浮かぶ。40 歳くらいまで右手にケロイドが残っていたが、今はもう皺が勝っている。もちろん、以降の受験はことごとく受からなかった。もし、受かっていたのなら、このように気楽な世界一周のレポートは書いていないと思う。いわゆる団塊の世代、生存競争に後れを取ったおかげが今であると思う。「莊子」と「人間万事塞翁が馬」である。

次に、網屋のことである。中学生の時の卒業式は近くの高校（高知商業高校、その後移転）の講堂を借りて行った。団塊の世代の、1 学年 500 名を越す人数だったので中学校の講堂は使えなかったのであろう。その高校の講堂に「天網恢恢疏而不失」と書かれた額が掛けてあった。この時気になっていたので誰かに尋ねたことがあった。会社に入って足掛け 47 年、常にこれを求めていたのかもしれない。もちろんこの意味は、いけないことをすれば天（神）はこれを見過ごさず（罰を当てる）、といった意味である。一方、網は主に色々なサイズの粒子を網目の大きさによって分けるときに使う。しかし、分ける網目の大きさに近いもの（業界用語で難通粒子という）は網目によく詰まってしまう。天網は網目に詰まらずきちんと分けることができると書かれているのだ。この究極の網を求めて 47 年間技術屋の端くれとして仕事をしてきたと思う。

このレポートは過去の追憶などもしながら書いてきた。結果、いつのまにか字数が伸びてしまった、これが原因であろう。

### 3) 帰国日

11月19日世界一周の旅を終えて帰国をした。もちろんこの日でなくてもよかったが11月22日にはしなければならないことがあった。旅の疲れを取るために2日ほど余裕をもって帰国をした。2018年11月23日NASO（タイ編説明参照）の活動で天川村に



吊るしたばかりの干し柿

行った。その帰り25日、下市で干し柿用の柿を見つけ30個ほど買い占めてきた。店によると、連休前にはたくさん置いていたという。即ち、売れ切れてしまう前、連休前に買い出しに行かなければならない。2018年の干し柿30個は妻と子供たちにほ

とんどを奪われてしまった。私の祖母（例の中の浜出身）は仏様にお供えをしていた干し柿をよくつまみ食いしていた。もちろん、祖母は仏様の許可を得ていたという。100歳近く（101歳で亡くなった）になると神様や仏様と会話ができるらしい。そのような家系のせいでもあるのか、みんな干し柿が好きである。

とんどを奪われてしまった。私の祖母（例の中の浜出身）は仏様にお供えをしていた干し柿をよくつまみ食いしていた。もちろん、祖母は仏様の許可を得ていたという。100歳近く（101歳で亡くなった）になると神様や仏様と会話ができるらしい。そのような家系のせいでもあるのか、みんな干し柿が好きである。



12月13日の干し柿(21日目)

あえて明確に言うなら、帰国の日はこの干し柿の都合で決めた。遍路悟りの旅とは程遠い、世界一周をしても迷いは簡単に消えない。この煩惱の世界から解脱するため108個の渋柿を吊るした。ただ、柿の渋は抜けて甘くおいしくなったが、煩惱は容易に抜けて無くならないものである。

### 4) 費用、レート（参考に2025年12月4日現在のレートを表に追記した）

ここで費用とレートのことについて触れておく。当初の予算は300万円であったことは前に述べた。航空運賃は、スターアライアンス34,000mile ビジネスクラス運賃は空港使用税や燃料サーチャージ料金を含めて98万円、これに含まれない別途区間を合わすと約127万円、ホテルは3日間延長したこともあり82万円ほど、ツアーなどの金額23万円などが主な費用であった。これらを含めた総費用は約280万円であった。この合計金額は私の銀行口座からも読み取れた。支払いはほとんどがクレジットカードであり、そこから詳細がわかる。旅行中、現金を使う機会は少なくまた現地通貨（ベトナム・タイ以外）は難波の金券ショップで、日々のレートをチェックしながら事前に両替をしておいた。カードはVISA、JCB、マスターの三種類を持っていたがVISAが使いやすいと思われる。なお、高額金額の支払いにはカードの利用限度額に注意をしなければなら

いが VISA の限度額で何とかまかなえた。

- ・ 訪問国の通貨名と訪問時の為替レート（簡易換算で大まかな金額を想定）

国	通貨名	為替レート （参考 2025/12/4）	簡易換算
カナダ	CAD	81.5 JPY (106.4 JPY)	8 倍丸 1 ケ + $\alpha$
アメリカ	USD (\$)	109.6 JPY (149.8 JPY)	丸 2 ケの 1 割増し
イギリス	GBP (£)	139 JPY (189.7 JPY)	丸 2 ケとその半分弱
ドイツ	EUR (€)	122.6 JPY (157.3 JPY)	丸 2 ケの 2 割増し
オーストリア	EUR (€)	122.6 JPY (157.3 JPY)	丸 2 ケの 2 割増し
イタリア	EUR (€)	122.6 JPY (157.3 JPY)	丸 2 ケの 2 割増し
オーストラリア	AUD	73.0 JPY (96.9 JPY)	7 倍丸 1 ケ + $\alpha$
ニュージーランド	NZD	67.7 JPY (88.0 JPY)	7 倍丸 1 ケ
タイ	THB (バーツ)	3.53 JPY (4.35 JPY)	4 倍
ベトナム	VID (ドン)	0.00465 JPY (0.00588 JPY)	丸を 3 個取って 5 倍
中国	CHN (元)	15.1 JPY (20.6 JPY)	丸 1 ケとその半分

もし、再び世界一周をするのかと聞かれたら間違いなく「YES!」という。その時は、フライトを 29,000mile にして、25 日位の日程で計画を立てると気楽に行ける。今回の経験から旅費全体でもビジネスクラスで 100 万円を少し超えるくらい、エコノミーだと 70 万円くらいで行けると思う。

文中、地震やはやり病のことをところどころに綴った。寺田寅彦は「天災は忘れたころにやってくる。」といった。しかし、今は忘れない頃合いにやってくる。「朝三暮四」の故事成語がある。サルに餌を与えるのに、朝 3 つ夜 4 つというと、サルたちは怒ったが、朝 4 つ夜 3 つというとサルたちは喜んだという。サルたちのあさはかな知恵を笑うが、彼らの選択は正しいと思う。貰えるものは早い方がよい、できることは先送りしない方がよい。次の先送りしない世界一周、それにはなんといっても体力・気力・感力のある健康な時間と、はやり病との関係だろうと思うのだが・・・。

## 5) 時差

時差については、ドイツ編最後に時差ボケについて述べた。この項で述べたいのは、単純に日本との時差である。旅行中、1 日に 1 回は妻にラインで連絡を取っていた。そして、時としてグループを作っていたファミリーにもラインをしていた。この時、例えば妻の寝入り端に送信をしようと、きつとお目玉を食らうに違いない。

時差表（後半は少し賢くなっている）

The image shows a handwritten table titled '時差表' (Time Difference Table). It lists various time zones and their corresponding times in Japan. The table is organized into two columns, with the right column showing times that are 'slightly wiser' (more accurate) than the left column. The entries include time zones like UTC+0, UTC+1, UTC+2, etc., and their respective times in Japan.

妻の就寝時間は午後9時ごろ、起床は午前5時過ぎ、ファミリーでは朝の時間を2時間は遅らさなければならない。そう、この時間帯にはラインを送ることはできないのだ。それが今までの旅行ならほとんど一地域、時差は一度の頭の切り替えで大丈夫だった。例えば、出張でよく行ったアジア圏だけなら時差1～2時間、これならわかりやすい。アメリカ大陸やヨーロッパを転々と移動すると、もはや日本の時間などわからなくなってしまうのは間違いない。移動とともに時差の換算表が必要になることが分かった。私の就寝時間なども考慮すると、1日24時間のうち1/3くらいしか連絡が取れないこともあることがわかる。それが、1日の締めくくりを報告するとなるとさらに時間帯が狭められる。それでも家族の心配には勝てない。

こう考えると、次の世界一周旅行は家族の理解が最も重要なことかもしれない。

## 謝辞

それにしても、ここまでくどくどと書いてしまった。文も徐々に書き方が変わってきているようにも思う。さて、世界一周旅行は10年以上前から公言をしていた。これが叶えられたのは妻と子供たちの理解やおかげがあったことと深く感謝をしている。今回はやり病で、旅行が無事できたのか、気遣っていただいた方々もたくさんいた。それを思えば非常によいタイミングで旅行が出来た、感謝の一言である。「同行二人」合わせて、知恵を貸していただいた、道中お世話やお付き合いしていただいた、私の知らない所でお気遣いや心配をしていただいた、ここまで読んでいただいた、もちろん家族を含め、すべての皆さんに心よりお礼を申し述べて、「古希の気ままな世界一周一人旅」の筆を置きたい。

ありがとうございました。

2020年（令和二年）10月 吉日

2021年（令和三年）11月 吉日(r1)

坪内 信行（つぼっぴ Nobu）



注1) 字数：約77,000字 写真数：383枚（全オリジナル） ページ数：121ページと表紙  
フライト総移動距離（日本国内線含む）：約77,500km

注2) 本稿は日本液体清澄化技術工業会会誌に一部リライトして2024年1月から2025年1月まで5回に分けて連載、同工業会用としては特に改訂番号はとらなかった。